

2025(令和7)年度 第48期

富士見市民大学

講座案内



大人の学び はじめませんか

市民による市民のための大学 NPO法人富士見市民大学

〒354-0033 埼玉県富士見市羽沢3丁目23-10 鶴瀬公民館内

<http://www.fujimi-shimindaigaku.org/>



第 4 8 期 市民大学開講記念・公開講演会のご案内

◆開会及び本年度の市民大学のご案内

： 2025 (令和 7) 年 6 月 7 日 (土) 13:00～13:20

◆開講記念・公開講演会

： 2025 (令和 7) 年 6 月 7 日 (土) 13:30～15:00

◆会 場：鶴瀬コミュニティセンター・ホール

◆定 員：250名 (申込順) ◆参加費：無料

◆演題：「共に生きるとは何か ― 難民の声、家族の

歴史から考えた多様性―」

◆講師：安田菜津紀(やすだ なつき)氏

認定 NPO 法人 Dialogue for People 副代表
／フォトジャーナリスト



シリアでは昨年まで過酷な弾圧や戦争が続き、パレスチナ・ガザ地区ではイスラエルによる侵攻で多くの人々が犠牲になってきました。こうして世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々がいますが、難民認定の壁に突き当たっています。また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます。

《 講 師プロフィール 》

1987 年神奈川県生まれ。認定 NPO 法人 Dialogue for People (ダイアログフォーピープル/D4P) フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16 歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』(ヘウレーカ)、他。上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

申込み/問合せ：2025 (令和 7) 年 5 月 12 日 (月) から申込受付開始

事務局 (鶴瀬公民館内) に直接または電話で平日 9 時～17 時にお願いします。

☎049-251-1140 Fax:049-251-1156

「『おくのほそ道』の世界」

芭蕉の『おくのほそ道』は、旧暦の三月末に隅田川のほとりの草庵を出立して、九月に岐阜の大垣に至るまで、私の分析によれば全四十四の章段からなる紀行です。本講座では、それを便宜的に三部に分けた第一部、すなわち陸奥の入口である白河の関の手前（殺生石・遊行柳）までを読み解きます。芭蕉はどのような人生を送ったのか、この紀行は私たちに何を教えているのかを考えることになります。その間に「不易流行」や「軽み」という思想の理解にも挑戦します。

（講師記）

講 師：東洋大学名誉教授 博士（文学）

谷 地 快 一（たにち よしかず）氏

プロフィール：1948年北海道生まれ。俳号海紅。俳人協会会員。日本エッセイスト・クラブ会員。著書に『与謝蕪村の俳景-太祇を軸として』（新典社）、共編著に『芭蕉・蕪村発句総索引』（角川書店）、江戸人物読本『与謝蕪村』（ぺりかん社）、『俳句教養講座』全3巻（角川学芸出版）など。



教 室：みずほ台コミュニティセンター（集会室）

日 程：9月7日～10月5日までの毎日曜日（5回）

	日 時	学習項目	学習内容
第一講	9月7日(日) 10:00～12:00	第一章「深川出庵」	第一章「深川出庵」を読解して芭蕉の世界観・人生観を学び、『おくのほそ道』の概観に及びます。
第二講	9月14日(日) 10:00～12:00	第二章「千住」と第三章「草加」	「千住」「草加」の二章を読解して送別・離別の情を学び、この旅の目的に及びます。
第三講	9月21日(日) 10:00～12:00	第四章「室の八島」と第五章「日光山」	「室の八島」「日光山」の二章を読解して歌枕とは何かを学び、正直と無分別の境地に及びます。
第四講	9月28日(日) 10:00～12:00	第六章「那須野」と第七章「黒羽」	「那須野」「黒羽」の二章を読解して旅の情けを学び、旧知のもてなしに及びます。
第五講	10月5日(日) 10:00～12:00	第八章「雲巖寺」と第九章「殺生石・遊行柳」	「雲巖寺」「殺生石・遊行柳」の二章を読解して仏頂（参禅の師）の徳を偲び、謡曲の舞台探訪に及びます。

市民学コース（１）ふじみの歴史講座

募集定員：５０名

「富士見と周辺市町の多様な関係性について学ぶ」

今回は、富士見市とふじみ野市(旧上福岡市)、志木市、三芳町など周辺市町との多様な関係性について近世から現代までの歴史から学びます。

一つには、富士見市南畑地域の近世から現代までの変遷と近隣市町とのつながりを深堀します。

二つには、新河岸川舟運が結ぶ上福岡河岸(ふじみ野市)や引又河岸(志木市)の役割と周辺地域である富士見市の関係性について学びます。

三つには、三芳町の三富新田が世界農業遺産として認められ、近年注目が集められてきているなかで、その意義について学びます。



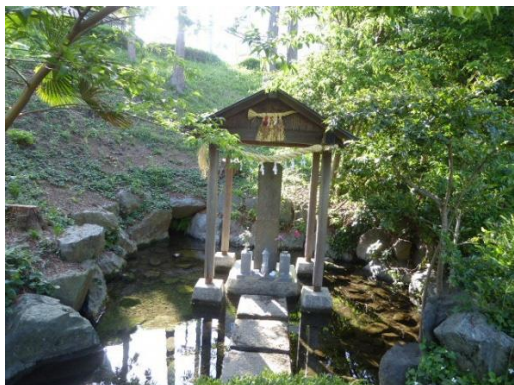
ふじみ野市立福岡河岸
記念館(回漕問屋「福田
屋」を利用した記念館)

回	日時・教室	テーマ	概要	講師
1	11月1日(土) 10:00~12:00 鶴瀬公民館	南畑の寺子屋から小学校制度への変遷、耕作地整備の取り組み		駒木 敦子氏 富士見市難波田城資料館長
2	11月8日(土) 10:00~12:00 鶴瀬公民館	新河岸川舟運が結ぶ上福岡河岸と消費地の関係について		坪田 幹男氏 元上福岡歴史民俗資料館長
3	11月15日(土) 10:00~12:00 鶴瀬公民館	南畑のある農民の生き方からたどる近隣市とのつながり		長堀 裕三氏 明治大学名誉教授
4	11月22日(土) 10:00~12:00 鶴瀬公民館	志木の文化と発展した商業地から近隣市町を考える		深瀬 克氏 志木郷土史研究会代表
5	11月29日(土) 10:00~12:00 鶴瀬公民館	三芳町・三富新田の成立と世界農業遺産の意義		犬井 正氏 獨協大学名誉教授

市民学コース（２） 環境講座 VOL. 1 自然環境編 募集定員：３０名

ブラタモリならぬ「ブラふじみ」しながら富士見の自然を学びます

富士見の自然や歴史文化を見て聞いて歩いて、ブラタモリならぬ「ブラふじみ」しませんか！水と緑と生きものが織りなす地「富士見」の自然を学びます。そして、残された貴重な自然を育みながら将来へ繋ぎましょう。



栗谷津公園 湧水と水の守護神



石井緑地公園 湧水の池と水路



キンラン



キツネノカミソリ



オオタカ

回	日時・教室	テーマ	概要	講 師
1	9月27日（土） 9:30～12:00 鶴瀬公民館（2階 第3集会室）	1. 本当の環境問題とは、持続可能な社会のあり方とは 2. 富士見市の自然環境、地形、湧き水（崖線・仕組・場所）、森や雑木林、動植物、希少種・外来種等	前田博之氏 埼玉県生態系保護協会事務局長 千種秀信氏 埼玉県環境アドバイザー	
2	10月18日（土） 9:30～12:00 集合/富士見市役所正面玄関前 雨天順延 10/25(土)	湧き水の郷を歩く PART 1 鶴馬 自然と歴史文化の両面から 2 人の講師が説明しながら巡ります ＜行程＞市役所～諏訪の森～大御庵の杜～下鶴馬氷川神社（トイレ休憩）～谷津の森、解散	千種秀信氏 埼玉県環境アドバイザー 中島哲雄氏 ふるさと探訪部会(10/25 は中島氏のがけなし)	

3	11月8日(土) 9:00～12:00 集合/柳瀬川駅東 口ロータリー 雨天順延 11/9(日)	柳瀬川・水谷田んぼ野鳥観察会 あれば双眼鏡持参 <行程> 柳瀬川駅～富士見橋～高橋(トイレ休憩)～水谷調節池～水谷田んぼ～富士見橋～柳瀬川駅	千種秀信氏 埼玉県環境アドバイザー 毛利将範氏 山崎光久氏 埼玉県生態系保護協会志木支部
4	12月6日(土) 9:00～12:00 集合/みずほ台駅 改札前 雨天順延 12/13(土)	湧き水の郷を歩く PART 2 針ヶ谷・水子 自然と歴史文化の両面から2人の講師が説明しながら巡ります <行程> みずほ台改札～栗谷津公園～栗谷津東公園～高野家～性連寺(トイレ休憩)～石井緑地公園～水谷公民館、解散 ※石井緑地公園では、どんぐり山を愛する会の保全活動に参加(落葉掃き)	千種秀信氏 埼玉県環境アドバイザー 中島哲雄氏 ふるさと探訪部会
5	1月17日(土) 10:00～12:00 鶴瀬公民館(1階 いきいき活動室)	1. ①巡った湧き水の水はきれいでしょうか? (水質、地形地質との関連性) ②日常生活が水環境や生態系に及ぼす影響 ③災害時の湧き水や井戸水の利用 2. 富士見の自然環境を守っていくには? まとめ 3. 次年度環境講座へのご意見	石山 高氏 環境科学国際センター 土壌・地下水・地盤担当部長 千種秀信氏 埼玉県環境アドバイザー



諏訪の森 弁財天



散策風景

学びのネットワーク 市民サロン講座

各回募集定員：30人

市民講師によるサロン講座

「市民人材バンク推進員の会」と市民大学とのコラボ企画

市民を講師に迎えた「市民による市民のための講座」です。市民人材バンクの登録者をはじめ、市内に在住、在勤する専門の方に講師をお願いしています。7講座から希望する講座を選んで受講できます。

NO.1 茶の湯歳時記(1) 7月、8月の茶事 講師 出井あや子氏(市民大学理事)



期日 7月26日(土) 10:00～12:00

会場 鶴瀬公民館第3集会室

内容 茶道の正式なおもてなし、茶事は炭をおこし、湯が沸くまでの間、懐石料理をいただき、休憩のあと、濃茶、薄茶という流れが標準です。7月、8月、盛夏から秋の茶事について道具組などの解説を致します。

NO.2 心と身体を整えるヨガ入門 講師 豊永めぐみ氏(人材バンク)



期日 9月8日(月)13:30～15:30

会場 鶴瀬公民館いきいき活動室

内容 ヨガとは、サンスクリット語で結ぶ、つながりを意味します。1人1人の身体や個性に合わせる「イシュタヨガ」をベースに、呼吸法・アーサナ(ポーズ)・瞑想で日々の緊張や感情を手放して、身体と心のバランスを整えていきます。ヨガが初めての方でも大丈夫です。【プロフィール】全米ヨガアライアンス(RYT200)認定イシュタヨガTT(ティーチャートレーニング)200時間修了(Be yoga japan)・YogaEd キッズヨガPI1講師養成講座終了〈ピラティス〉・BESJ認定 マットピラティスインストラクター

NO.3 講話と写経

講師 横山亮英氏(来迎寺住職)



期日 10月6日(月)13:30～15:30

会場 鶴瀬公民館いきいき活動室

内容 「混迷の時代を生きる」

異常気象や大地震、デジタル社会と言われる急激な社会の変化、世界を見渡せば各地での戦争や紛争が続き、平和の世紀と言われていた時代とは程遠いキナ臭い時代となりました。こうした時代を共にどう生きるのか、一人ひとりの心の持ち様を考えてみたいと思います。

NO. 4 「楽しく学ぶフレイル予防！毎日の食事から健康寿命をのばそう！」
講師 南野知子氏(株式会社パル・オネスト(パル薬局) 管理栄養士)



期日 11月10日(月)13:30～15:30

会場 鶴瀬公民館いきいき活動室

内容 フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をいいます。いかに、フレイルを予防するかが重要といわれています。フレイルは運動、食事、社会参加の3つを満たすことによって予防できるといわれています。その中でも食事は、毎日の習慣のためすぐに実践できることが多くあります。毎日の習慣である食事から、無理なく！楽しく！フレイルを予防してみませんか？実践しやすく、簡単にできることをたくさんお伝えします。

認定栄養ケア・ステーション責任者

NO. 5 拓本の制作(技能の公開指導) 講師 資料館友の会拓本部会



期日 1月26日(月) 13:30～15:30

会場 鶴瀬公民館いきいき活動室

内容

拓本は、文字や模様を紙に写し取る伝統的な複写技法です。本講座では、はじめての方に向けて基礎から詳しく学ぶことができます。

NO. 6 終活のすすめ 講師 鈴木 規夫氏(人材バンク)



期日 2月23日(月・祝日) 13:30～15:30

会場 鶴瀬公民館いきいき活動室

内容

以前より「終活」という言葉が話題になっています。その終活について取り組みがなぜ必要か、心構え、経済面も含めて具体的に皆さんの心配事に応えてもらいます。

NO. 7 茶の湯歳時記(2) 3月、4月の茶事 講師 出井あや子氏(市民大学理事)



期日 3月7日(土)10:00～12:00

会場 鶴瀬公民館第3集会室

内容

雛祭りの3月、桜の4月、季節や趣向に合わせた茶事の道具組などについて、私見を話します。



公開講演会のご案内



講演テーマ 「インターネットで見える社会の仕組みを知る」

～情報化社会がもたらす生活への影響と今後、

被害者にも加害者にもならないために～

多くの人が年齢を問わず、パソコンやタブレット、スマートフォンを使ってインターネットを利用する時代になりました。しかし、インターネットを通じた情報の接し方は、利用者の行動や心理、そして現在の技術的背景の影響を受けるため、従来のマスメディアによる情報接触とは異なる特徴を持っています。その結果、私たちが捉える社会の姿も変わってくる可能性が指摘されています。本講座では、このようなインターネットの仕組みを解説し、より効果的な情報活用の方法を考えていきます。

日 時 2025年9月6日（土）

1：30～3：30

講 師 柴内康文氏（しばない やすふみ）

東京経済大学教授

会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール

参加費 無料

定 員 250名（申し込み順）



《 講 師プロフィール 》

1970年千葉市生まれ。1994年東京大学文学部卒、1999年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得。同志社大学社会学部准教授を経て、現在東京経済大学教授。専門はメディア論、コミュニケーション論。著書に『デジタル情報社会の未来（岩波講座現代第9巻）』（岩波書店、2016年、共著）、『ソフト・パワーのメディア文化政策』（新曜社、2012年、共編著）、翻訳書に『孤独なボウリング——米国コミュニティの崩壊と再生』（柏書房、2006年）などがある。

申し込み：2025年8月1日（金）受付開始

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で *平日の9時～17時にお願いします。

電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156



公開講演会のご案内



人権講座 講演テーマ

「貧困」の中に生きる少女たちのリアル ～女性の貧困と性搾取～

居場所がなく夜の繁華街をさまよう少女たちはいくつかの問題を複合的に抱えています。Colabo は彼女たちが「衣食住」と「関係性」を持ち、暴力を受けたり、性搾取に行きつかなくてよい社会を目指して活動しています。少女たちはなぜ帰れないのか、いま何が起きているのか。あなたの知らない、女子中高生の現実〈リアル〉。私たちは何ができるのか。皆さんとともに考えていきたいと思います。

日 時 2025年12月6日(土)

1:30～3:30

講 師 講師 仁藤夢乃氏(にとう ゆめの)

Colabo 代表

会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール

参加費 無料

定 員 250名(申し込み順)

《 講師プロフィール 》

一般社団法人 Colabo 代表。1989 年生まれ。中高生時代に街をさまよう生活を送った経験から、行き場のない少女たちへの夜の街でのアウトリーチ、シェルターでの保護や宿泊支援、シェアハウスでの住まいの提供など、10 代女性を支える活動を行なっている。また、虐待や性暴力被害を経験した 10 代の女性たちとともにアウトリーチや、「私たちは『買われた』展」の開催など、虐待や性搾取の実態を伝える活動も行なっている。著書に、『難民高校生 絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』（英治出版・2013 年、ちくま文庫 2016 年）、『女子高生の裏社会 「関係性の貧困」に生きる少女たち』（光文社新書・2014 年）ほか多数。受賞歴として、2015 年「エイボン女性年度賞」、日経ビジネス「次代を創る 100 人」、文藝春秋「日本を代表する女性 120 人」、日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー「若手リーダー部門」、2019 年「Forbes Under30 Asia 2019 社会起業家部門」、2021 年「国際女性デー | HAPPY WOMAN AWARD 2021 for SDGs」など。

事前申込制：市内在住・在勤・在学者のみ 2025 年 11 月 10 日（月）受付開始

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で ＊平日の 9 時～17 時をお願いします。

電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156





公開講演会のご案内



講演テーマ

「私たちは認知症にどのように向き合ったらよいのだろうか」

最近、認知症を心配して医療機関を訪れる人が増えました。しかし症状が軽い段階では、正常（老化）と異常（病気）の区別が難しいのです。しかも、後に病気を発症する可能性を否定できません。だから病気でないことが分かっても、安心できない人も多いのです。その不安は医療の対象でないと言う人もいますが、私はその不安を支える医療者でありたいと思います。そして診断がなされたら、服薬や介護保険のサービス利用だけでなく、病気との出会いを見守ったり、病気との付き合いを支えたりする医療でありたいと思います。また、認知症の有無を問うことなく、認知症の人にも、認知症でない人にも優しい社会を目指して、認知症の人や家族やその支援者たちと、力を合わせる医療でありたいと思います。

日 時 2026年2月7日（土） 1：30～3：30

講 師 講師 繁田雅弘氏（しげた まさひろ）

栄樹庵診療所長

東京慈恵会医科大学 精神医学講座名誉教授

会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール

参加費 無料

定 員 250名（申し込み順）



《 講 師プロフィール 》

専門はアルツハイマー病などの認知症疾患。症状よりも「人」を診ることをモットーとし、問診を重視した診療を行っている。同院の精神神経科で初診や物忘れ外来（メモリークリニック）を担当するほか、同大学精神医学講座では、後進育成、地域医療への貢献、メンタルヘルスに関する発信にも積極的に取り組んでいる。日本認知症ケア学会 理事長、日本老年精神医学会 副理事長、日本薬物脳波学会 理事、日本認知症学会 代議員、日本脳電図トポグラフィー学会 評議員。『気持ちが楽になる 認知症の家族との暮らし方』（2018年 池田書店）『認知症予防とリハビリテーション 最前線（MB Medical Rehabilitation（メディカルリハビリテーション））』（2017年 全日本病院出版会）他多数。

申し込み：2026年1月13日（火）受付開始電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で ＊平日の9時～17時にお願いします。



時間の取れる範囲で、一緒に活動しませんか？

人を健康にするのは「良い人間関係」であるという研究があります。

- ・家族、友人、コミュニティ等、周りとのつながりを持っている人はそうでない人よりも健康で幸せで長生きする
- ・身近な人たちとの関係の質が重要である
- ・良い人間関係は脳も守る

このような活動が
あります！！

⇒ボランティアを通じて新たな人間関係を作りませんか？

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| 1. 講座の企画・運営… | 独自性・先駆性・話題性のある講座、講演会を企画します |
| 2. 講師選定と講座計画… | 受講生の声を聞きながら、講座プランを練り上げ、講師の先生を決めます |
| 3. 見学場所の下見… | ほかのスタッフや仲間と下見をして「見どころマップ」を作ります |
| 4. 講座資料の印刷… | 公民館の印刷機を使って講座資料を作成します |
| 5. イベント、授業準備… | 講座日には、受講生といっしょに会場設営、公開講演会の受付 etc. |

問合せ：富士見市民大学事務局（鶴瀬公民館内）TEL049-251-1140 平日 9 時～17 時

第48期富士見市民大学・受講申し込み方法

【受講にあたって】

- ・受講希望者が定員を超えてしまった場合、抽選となります。
- ・なるべく多くの方に1つでも講座を受けていただくために、申込書に受講希望講座を希望順にお書きください。
- ・サロン講座は、各回ごとに参加申込ができます。
- ・受講するのが1講座でも複数講座でも、運営費は変わりません。
- ・講座が延期・中止になった場合、受講される方にはハガキ又は電話でお知らせいたします。
- ・講座が中止になった場合や落選して講座が1つも受けられない場合、運営費は返金します。

1. 受講申込方法と運営費（保険料・通信費その他）について：

市民大学の講座の受講は無料ですが、運営費として800円（NPO 富士見市民大学正会員は300円）をいただいています。

「第48期富士見市民大学・受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、
運営費(鶴瀬公民館窓口では現金可、それ以外は払込取扱票)を添えて各施設でお申し込みください。

2. 期間・場所：

2025年6月9日（月）から6月30日（月）までの平日午前9時から午後5時まで（各施設の休館日を除く）に、各公民館／コミュニティセンター／交流センター／ピアザ☆ふじみの窓口でお申し込みください。

3. 問い合わせ 市民大学事務局

（市立鶴瀬公民館内） 電話番号：（049）251－1140

ファックス：（049）251－1156

【受講にあたって】をよく読んでからお申し込み下さい。

N P O法人富士見市民大学

会員（正会員／賛助会員）入会の申し込みについて

入会のご案内

会費を納めていただくことにより、どなたでも入会できます。入会された方には情報紙や公開講演、公開講座、交流会、通常総会のご案内など各種行事をお知らせいたします。

■ 会員の会費

正会員 2,000 円(年会費) 個人が対象です。

賛助会員 1,000 円(年会費/一口以上、何口でも可)企業・団体及び個人が対象です。

※なお、会員が講座を受講されるときは、別途 300 円(保険その他経費)が必要です。

- 会員期間……1 年間(4 月 1 日～3 月 31 日)です。この期間が市民大学の事業年度ですので、期の途中からの入会でも、会員期間は「入会日～3 月 31 日」となります。

■ 正会員になると以下の特典があります

- ① 市民大学受講生の運営費(保険料・通信費など)は 300 円になります。
- ② 特別有料講座の優先予約と割引制度を利用できます。
- ③ 『まとめ集』(1 年間の全講座記録・受講生の感想文)や『富士見市民大学だより』その他の発行物が届きます。
- ④ 通常総会や臨時総会に出席し議決権を行使することができます。
- ⑤ 友好団体・行政との合同「企画懇談会」や「運営委員会」に参加するなど意見交換の場が得られます。同時に、自分の意見を事業計画に反映させる機会が生まれます。

■ お申し込み方法

- ・ 鶴瀬公民館「富士見市民大学事務局」へ…平日の 9 時～17 時に受付
〒354-0033 富士見市羽沢 3-23-10 Tel 049-251-1140 Fax 049-251-1156

■ お支払い方法

- ・ 鶴瀬公民館「富士見市民大学事務局」へご持参ください。

第 4 8 期・富士見市民大学・受講申込書（一般・正会員）

- ・受付期間：6月9日（月）～6月30日（月）
- ・運 営 費：（保険・通信費として一般の方 800 円、NPO 法人富士見市民大学正会員 300 円）

【受講にあたって】

- ・受講希望者が定員を超えてしまった場合、抽選となります。結果は、申込期間終了後、申込書を提出した方全員にハガキでお知らせいたします。
- ・受講するのが1講座でも複数講座でも、運営費は変わりません。
- ・講座が中止になった場合や落選して講座が1つも受けられない場合、運営費は鶴瀬公民館で返金します。

フリガナ	()	年齢	住所	〒 354- Tel () - () - () 富士見市
氏名		(代)	緊急連絡先	氏名 () 続柄 () Tel () - () - ()

受講講座 第 1 希望 () 第 2 希望 () 第 3 希望 ()
 第 4 希望 ()

※第 2 希望以降は、受講希望講座がない場合は記入不要です。

①文学講座 ②ふじみの歴史講座 ③環境講座

④サロン講座 (4-1・4-2・4-3・4-4・4-5・4-6・4-7)

※本申込書の記載内容は、富士見市民大学のみに使用し、ほかの目的に使用することはありません。

受付日時	月 日	受付場所 () 1 鶴瀬公民館 2 南畑公民館 3 水谷公民館 4 水谷東公民館
受付者名		5 ふじみ野交流センター 6 鶴瀬西交流センター 7 針ヶ谷コミセン 8 みずほ台コミセン 9 ピアザ☆ふじみ

払込用紙（控） 貼付欄

申込方法について

- (1)「払込取扱票（青色）」に必要事項をご記入の上、運営費を最寄りの「ゆうちょ銀行」または「郵便局窓口」よりお振込みください。
- (2)受講申込書に必要事項をご記入の上、払込用紙の控を貼り付け、受付期間内の平日午前9時から午後5時までの間に下記公共施設の窓口までご持参ください。

※手数料が発生します。手数料は申込者ご自身でご負担ください。

・払込取扱票について

The image shows two forms side-by-side. The left form is a 'Payment Slip' (払込取扱票) with fields for account number (口座記号), account number (口座番号), amount (金額), and payee information (加入者名, 通信欄, ご依頼人). The right form is a 'Receipt' (振替払込請求書兼受領証) with similar fields for receipt confirmation.

必要項目を印字した払込取扱票（青色）を講座案内に挟み込んでありますが、主催者が用意した申込用紙でなくとも、各郵便局等で「払込取扱票（青色）」を入手し「通信欄・ご依頼人」欄に下記項目を明記してお振込みいただくことも可能です。ただし、赤色の払込取扱票では受付できません。必ず青色の払込取扱票を使用し、手数料は参加者ご自身でご負担ください。

【口座記号】 001205

【口座番号】 483798

【加入者名】 NPO法人富士見市民大学

【金額】 運営費（一般800円・NPO法人富士見市民大学正会員300円）をご記入ください

【通信欄・ご依頼人欄明記事項】

申込者名・住所・電話番号

鶴瀬公民館窓口でのお申込み

・鶴瀬公民館の窓口でのみ、現金払いによるお申込を受け付けます。

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、運営費を沿えて「鶴瀬公民館」窓口までご持参ください。

※手数料は発生致しません。

・受付場所

鶴瀬公民館、南畑公民館、水谷公民館、水谷東公民館、ふじみ野交流センター、鶴瀬西交流センター、針ヶ谷コミセン、みずほ台コミセン、ピアザ☆ふじみ

・受付時間 平日（各施設の休館日を除く）の午前9時から午後5時まで